

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

ボーリング柱状図

調査名 岡本台病院給食棟その他新築工事 孔番 No. No.2 地盤高 _____ m

調査場所 栃木県河内郡岡本 (基準面 _____)

地 形 _____ 摘 要 _____

調査期間 昭和53年8月 日 ~ 月 日

地下(孔内)水位 GL-8.70m 調査担当者 _____

標地下水位 高(m)	深 度 (m)	層 厚 (m)	土質記号	土 質	土 性		備 考	(註) 試 料			標準貫入試験										
					色 調	相対密度		番号	記号	採取深度 (m)	原 位 試験深度 (m)	打 撃 回 数									
												0	10	20	30	40	50	60	70		
0				表土	暗灰																
1	0.90	0.90	X	鹿沼土	赤褐			1	1/30	1.15 1.45	1										
2	1.40	0.50						2	1/40	2.15 2.55	1										
3			////					3	1.1.1	3.15 3.45	3										
4			////					4	1/40	4.15 4.55	1										
5			////					5	1.1.2	5.15 5.45	4										
6			////					6	1.2.1	6.15 6.45	4										
7			////	ローム				7	1.2.2	7.15 7.45	5										
8	7.70	6.30	////					8	1/20.1	8.15 8.45	2										
9			////	礫混り砂質ローム	茶灰色			9	6.8.3	9.15 9.45	17										
10			////					10	3.1.2	10.15 10.45	6										
11	10.60	2.90	////	砂 礫	茶灰			11	6.7.1b	11.15 11.45	29										
12	11.60	1.00	////					12	1/20.1	12.15 12.45	2										
13			////	粘土	黄褐色			13	2.3.5	13.15 13.45	10										
14	12.50	1.90	////	粗砂				14	3.3.3	14.15 14.45	9										
15	12.90	0.40	////	礫混り粘土	赤褐			15	17.26.9	15.15 15.38	52										
16	14.50	0.60	////	粘土	茶灰			16			23										
17	14.80	0.30	////	砂 礫				17													
18	15.38		////					18													

関東ローム
有機物混る。
粘土質を呈す。

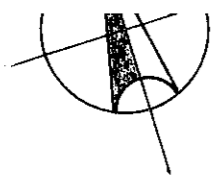
礫は点在程度
所により固結
状を呈す。
有機物混る。

礫φ 5%~20%
粗砂混入多い

ローム質

最大φ 100%

▽



No. 2

No. 3

No. 1

No. 4

